

【第5学年算数】 誤った判断をしやすい割合の大小比較の課題を適切に処理して
解決し、筋道立てて説明する

1 単元名 割合とグラフ

2 単元のねらい

(1) 割合，比べられる量，もとにする量を求めることができる。また，割合を
円グラフや帯グラフに表すことができる。

(2) 割合の意味と表し方，円グラフや帯グラフの読み方，書き方が分かる。

3 指導計画（全13時間）

第一次	3時間	割合
第二次	2時間	百分率
第三次	3時間	割合を使う問題
第四次	3時間	割合を表すグラフ
第五次	2時間	練習 発展

4 指導の構想

割合の学習の理解を深めるために，これまで経験をしていないタイプの課題を
提示する。本時で扱う「値引き券」の課題は，次の点で価値があると考ええる。

- ・買い物をした金額によって，値引きの割合が変動する。（月曜日と水曜日では
どちらが値引きの割合が高いかは，直感で判断できない。）
- ・日常生活でよくある場面設定である。

一見すると，値引きの額が多いのは月曜日であるので，最初の判断では，「月
曜日の買い物が値引きの割合が大きい」と考えやすい。しかし，大きいのは水曜
日である。「値引きの割合が大きいのはどちらの曜日でしょう。」の問いに対して，
それぞれの曜日の値引きの割合を計算させると，「実は，水曜日の方が大きかつ
た。」ということが分かる。そこで，最初の判断とのずれを感じさせたい。

値引きの割合の大小比較を済ませたら，結果を簡潔に表現させたい。そのため
には，「何について」「どの順序で」説明するのかを指定したワークシートに記述
させる。説明の内容と順序を指定することで，互いの発表内容を検討する際の観
点がはっきりする。また，分かりやすい説明の型を身に付けることにもつながる。
その後，説明内容を検討する活動を充実させることで表現力を高めたい。

5 本時の指導

(1) 本時のねらい（13/13時間目）

値引きの割合の大小は値引き額では比べられないことを理解し，月曜日と水
曜日の値引きの割合の大小を式と言葉を用いて説明することができる。

(2) 展開

教師の働き掛け	学習活動と予想される反応	・留意点◇評価						
1 学習課題をつかむ。								
<p style="text-align: center;">買い物上手になろう！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>スーパーにいがた</p> <p>¥10 引き!!</p> <p>100 円以上の買い物をした時に 1 枚に限りご利用できます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>スーパーにいがた</p> <p>¥100 引き!!</p> <p>500 円以上の買い物をした時に 1 枚に限りご利用できます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>スーパーにいがた</p> <p>¥300 引き!!</p> <p>1,000 円以上の買い物をした時に 1 枚に限りご利用できます。</p> </div> </div> <p>※ 値引き券は、1 回の買い物につき 1 枚だけ使用できます。</p>								
<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日に、2000 円の買い物をしました。どの値引き券を使うとお得でしょう。 ・水曜日には、500 円の買い物をしたので、100 円引き券を使いました。この券を使うことで、何%引きになったといえるでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1000 円以上の買い物をしたのだから、300 円引き券だよ。 ・$500 \div 100 = 5$ で 5% かな。 ・比べられる量 \div もとにする量だから、$100 \div 500 = 0.2$ $0.2 \times 100 = 20$ で 20% だよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な問題のやり取りをしながら値引き券の使い方を確認する。 ・値引きの割合の求め方を復習する。 						
<ul style="list-style-type: none"> ・値引きの割合が大きいのは月曜日の買い物と考えていいですか。 ・月曜日と水曜日では、どちらの値引きの割合が大きいのか式や言葉を使って説明しよう。 	<p>2 考えをワークシートに書き発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜は 300 円の値引きで、水曜は 100 円の値引きだから、月曜の方が大きいね。 ・でも、買い物の総額が違うから、値引きの割合も違ってくるんじゃないかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">ワークシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">1</td> <td>まず、月曜日の値引きの割合について考えます。 $300 \div 2000 = 0.15$ $0.15 \times 100 = 15$ という式で表せて、15 %引きになります。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>次に、水曜日の値引きの割合について考えます。 $100 \div 2000 = 0.2$ $0.2 \times 100 = 20$ という式で表せて、20 %引きになります。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>だから、 水曜日の方が値引きの割合が大きいということが言えます。</td> </tr> </table> </div>	1	まず、月曜日の値引きの割合について考えます。 $300 \div 2000 = 0.15$ $0.15 \times 100 = 15$ という式で表せて、15 %引きになります。	2	次に、水曜日の値引きの割合について考えます。 $100 \div 2000 = 0.2$ $0.2 \times 100 = 20$ という式で表せて、20 %引きになります。	3	だから、 水曜日の方が値引きの割合が大きいということが言えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートではなく、ノートに同じ形式で書かせてもよい。
1	まず、月曜日の値引きの割合について考えます。 $300 \div 2000 = 0.15$ $0.15 \times 100 = 15$ という式で表せて、15 %引きになります。							
2	次に、水曜日の値引きの割合について考えます。 $100 \div 2000 = 0.2$ $0.2 \times 100 = 20$ という式で表せて、20 %引きになります。							
3	だから、 水曜日の方が値引きの割合が大きいということが言えます。							
<ul style="list-style-type: none"> ・どんな説明が分かりやすかったですか。 	<p>3 説明内容の検討をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余計な言葉がないと分かりやすいよ。 ・ワークシートのように説明の順序に気を付けて書くと、分かりやすくなるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇水曜日の値引きの割合の方が大きいことの根拠を簡潔に説明することができたか。 						